

が、近年はこうしたハード事業の補助金がなく、今後も非常に厳しい現状です。多額の経費を要しますが、何とか整備実現に向けて努力していきます。

★恩原ダムの非常時放流のとき、住民への周知は早急に可能か。

県水防計画による通報連絡系統図に基づき、サイレン、スピーカー等の吹鳴により周知されると考えています。

★指定されている避難場所は安全なのか。避難経路に危険はないのか。

町村合併以前から各地域の態様に応じた指定の仕方により、63箇所の避難所を指定しています。ハザードマップに避難場所を示していますが、全てが土砂災害や洪水の危険性が全く無いとは言いきれないとの考えから、担当課に総点検を指示し、調査しています。

★NTT西日本が開発した振り込め詐欺防止装置の導入促進と助成制度を創設する考えはないか。

この装置の機能は、登録していない人から電話があった場合、振り込め詐欺の注意喚起表示が出たり、タッチパネルに触れることにより、家族等のあらかじめ登録した人との通話も同時にできる機械です。本町は、現時点では補助制度よりも地域ネットワーク作りを推進して、高齢者の被害防止に努めます。毎月の広報紙に消費者情報を掲載したり、悪質商法から身を守るための冊子を折り込むなどして住民啓発を行っています。

★奥津運動公園の活用の要望にどう対応するのか。

野球場のバックネットが傷んでいることから、野球場としての利用は休止していますが、地元の老人クラブの要望により、グラウンドゴルフの練習にバックネットから離れた安全な場所を使っていたいただいています。今後を検討する中で、

先般、美作高校から定期的な硬式野球部の練習に使用したいとの要望をいただきました。この要望に沿うことを考えると、通常の練習での利用に加えて、合宿や他県の高校との練習試合で宿泊しての利用も想定され、地域活性化につながることも考えられます。美作高校からの話は、今後の奥津運動公園のあり方を検討する上で方向性の一つと考えています。その前提として、施設の改修が必要になります。どの程度必要なのかを調査して、費用対効果を考慮して検討します。

★領家地区ゴミ処理場建設について、問題が未解決の中での事業推進は理解できない。見解を求めます。

申請書類の不備は、適地選定委員会における選定過程で十分な議論・審議による補正等により瑕疵は治癒され、候補地決定に影響を及ぼすものではありません。地元町内会との覚書は、現在改めて見直しの協議を領家地区と行っています。

土壌汚染は、土壌汚染対策法に準拠して土壌調査を組合が実施しました。その結果、重金属については法の基準値を下回るものであり、工事に伴う環境への影響は無いものと考えます。しかし、地域住民の不安解消のためにも、建設予定地全体の土壌調査を今後実施する予定です。

産廃問題は、既に残土処理地から前地権者自らが埋立物を撤去していますが、住民のより安心のために、造成時にさらに確認調査を行う予定です。

土地代は、土地購入にあたり不動産鑑定士2社にそれぞれ鑑定してもらいました。その価格をもとに地権者と交渉した価格で組合は土地を購入しました。

★子ども・子育て新システム、認定子ども園と保育の公的責任について。

鏡野町立保育園・幼稚園のあり方検討委員会の答申を受け、今後の整備方針に基づき、芳野保育園の整備を進めています。保護者が働

いている、いないにかかわらず児童を受け入れて、教育・保育を一体的に提供できる、現在の法律での「認定子ども園」として新たに開園したいと考えています。運営のあり方は、当面、公営方式と考えています。国の動向を勘案しながら進めていく必要がありますが、小学校就学前教育の充実、保育サービスの充実、保護者が利用しやすい保育園を第一に考えていきます。

★各地域の子育て世代の意見を聞いて、実情と将来に役立つ支援策を追加すべきではないか。

子育て支援は、町の総合計画及び次世代育成支援行動計画に基づき実施しており、町民アンケートでは約8割の方から、子育てしやすいまちであるという回答をいただいています。今後もニーズ調査とご意見を伺いながら、支援施策へ反映させます。

★米軍機低空飛行について。

岡山県危機管理監から防